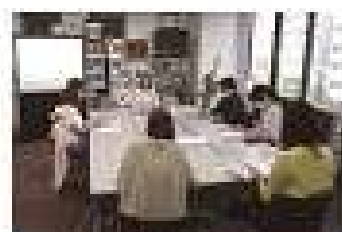


生きがいしごとサポートセンター事業

- ①だれもが働きやすいまち
- ②だれもが地域活動しやすいまち

2020年度は延べ1,885名の方と面談し、101名の方の就労を支援し、13団体設立のサポートを行いました。

「55歳以上の方向け合同企業説明会」を実施し、経験豊かなシニア採用を望んでいる企業と社会参加を続けていきたいシニアの橋渡しを行いました。その他にも女性向け起業セミナーなどセミナー・座談会を行い、NPO法人などコミュニティ・ビジネスの起業支援と就労サポートに取り組みました。また但馬地域への出張相談も行いました。



女性向け起業セミナー

ひきこもり相談支援センター播磨ランチ・居場所 ③だれもが夢と生きがいを持てるまち

コロナ禍で相談件数は減少傾向にありました。また、親の会については、オンライン開催は難しく、対面での開催を希望されました。ひきこもり状態にある方の相談が、地域の相談支援窓口と結びついている事例もあり、ひきこもり状態にある方の支援の第一義的な実施主体として市町の取り組みを促進・強化するための市町支援プログラムが新たに加わりました。また多可町でも、2019年度に引き続き、ひきこもり状態にある方の社会参加の第一歩となる「居場所」を開設し、当事者やその家族の方、延べ145名の方にお越し頂きました。



多可町居場所 ドローン体験

ひきこもり相談	累計	アットホーム相談室	累計
電話相談	55件	本人来庁	25件
面談相談	16件	家族来庁	3件
合計	308件	合計	28件

姫路おでん事業

- ③だれもが楽しめるまち

姫路おでんの普及活動は、コロナ禍の影響を受けてイベント自体の機会がなくなり、2020年に大きく活動内容が変わりました。

姫路おでん本舗は2021年3月に店舗を、姫路おでんの販路売に開店いただいた企業に経営移管いたしました。

商標管理を目的とする姫路おでん協同組合は、ヤマサ蒲鉾(株)内にある西播水産精製品協会内に移転し、普及PRを目的とする姫路おでん普及委員会はコムサロン21内で継続して活動していきます。

これからも姫路のご当地グルメ「姫路おでん」をよろしくお願いたします。



ひょうごボランティア基金中間支援活動助成事業

- ③だれもが地域活動しやすいまち
- ④だれもが安心して暮らせるまち

災害救援ネットワークの強化に取り組み、「大規模災害を想定した災害ボランティア連携訓練」などに参加し、そこで得た情報の中・西播磨の団体と共有することで防災に対する意識向上に貢献できました。また中播磨福祉センター、姫路市、姫路市社会福祉協議会・コープこうべなどとの「顔の見えるネットワーク」を強化することができました。コロナ感染拡大による緊急事態宣言発出のため、イベントはやむなく中止とし、代替えとして播磨地域の防災情報を集約したページをコムサロンのHP内に開設しました。「NPO団体ネットワーク会議」を6回開催、延べ53団体65名の出席者がありました。またコミュニティビジネスに関する個別相談を12回行いました。



播磨災害救援ボランティア活動支援関係団体ネットワーク

<https://www.com21.or.jp/bousai/>